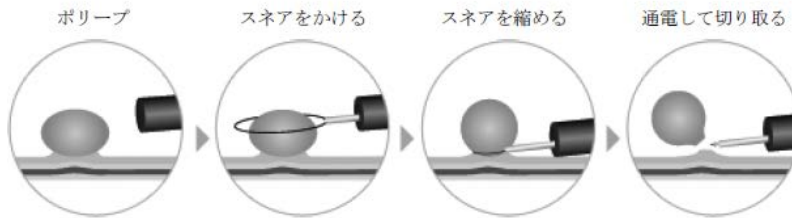


# 大腸ポリープの内視鏡的切除（ポリペクトミー）について

## 1. ポリープ切除（ポリペクトミー）の方法

内視鏡を通して、針金（スネア）をポリープに輪投げのようにかけて、高周波電流（電気メス）を流して切り取ります。



## 2. ポリペクトミーの偶発症

電気メスを応用して焼き切る手術ですから、非常にまれですが、ポリープの大きさ・形・予測できない太い血管などに次のような偶発症が起こる可能性があります。

- (1) 出血・・・ポリープには血管が入っています。止血しながら切除しますが、まれに出血する可能性があります。ごくまれに切除後1週間以上経って起こることもあります。
- (2) 穿孔・・・高周波電流の熱が腸壁に深く及ぶと、非常にまれですが腸に穴が開く可能性があります。

これらが起こった場合、入院、あるいは緊急手術が必要になることがあります。

これらの偶発症は多くの場合、腹痛や肛門からの出血などの自覚症状によってわかります。ポリープ切除後に腹痛や肛門からの出血などが認められた場合は、早めにクリニックに連絡、もしくは受診してください。

## 3. 血液が固まりにくくなる（サラサラになる）薬を服用しておられる方へ

これらの薬は、狭心症や心臓手術後、脳梗塞後に使われることがありますが、ポリープを切除した場合、出血しやすくなりますので、下記の休薬期間が必要です。

- (1) ワーファリン・・・切除前3～4日間⇒切除日⇒切除後10日間 休薬してください。
- (2) バファリン（アスピリン）・パナルジン等・・・切除前1週間～10日⇒切除日⇒切除後10日間 休薬してください。

※なお、これらの薬の休薬については必ず主治医と相談してください。

高松内視鏡診断クリニック